



幹事長の主張

日立グループ議員団幹事長 八尋伸二 秦野市議会(日立労組/ヴァンタラ支部)

安全と自然環境の両立が求められる

日頃より、日立グループ議員団および各議員へのご指導とご支援に感謝申し上げます。

全国で熊の出没が急増

近年、全国で熊の出没が増加し、人的被害や生活圏への侵入が深刻な社会問題となっています。私が暮らす秦野市でも目撃情報があり、地域では不安や心配の声が広がっています。

こうした背景には、森林環境の変化、里山管理の遅れ、農村部の人口減少、さらには餌資源の偏りなど、複数

の要因が複雑に絡み合っています。熊対策は単なる「害獣駆除」にとどまらず、森林保全、農業被害の防止、地域防災、生態系の維持、観光施策との調和など、多岐にわたる政策分野と密接に関連しています。

丁寧な説明と合意形成が不可欠

政治の役割は、地域の実情をふまえ

た総合的な対策方針を示し、必要な予算措置や専門人財の確保を行うことです。具体的には、電気柵などの防護対策、捕獲体制の強化、AIカメラやドローンによる早期発見、里山再生活動の支援などがあげられます。また、住民への丁寧な説明と合意形成も不可欠であり、安全と自然環境の両立が求められています。

選挙結果報告
日立グループ議員団

島根県安来市議会議員選挙 2025年10月19日投開票



プロテリアル労組安来支部
原瀬 清正

1,409票 当選



プロテリアル労組安来支部
小松原 直樹

1,213票 当選

日立グループ議員団ホームページで情報発信中！



是非ご覧ください

日立グループ議員団のホームページで各議員の紹介や活動報告、日立グループ議員団だよりを掲載しています。また、地域での困りごと等を相談する窓口もあるので是非ご活用ください。



日立グループ議員団だより

ホームページアドレス <https://www.hitachi-gr-giindan.jp/>

今号の読みどころ

P4

議員活動レポート…(茨城県議会、東海村議会、栃木市議会、安来市議会)

幹事長の主張…安全と自然環境の両立が求められる

浅野衆議院議員・国政レポート…成果を力に、希望を広げる一年に

平戸参議院議員・国政レポート…暮らし改善に全力を尽くす

P2~3



国政レポート | 成果を力に、希望を広げる一年に

日立グループ議員団会長 衆議院議員(日立労組/研究所支部) 浅野 さとし

日立グループ議員団だよりをご覧の皆さんに新年のお慶びを申し上げます。旧年中の力強いご支援に心より御礼申し上げます。

政策のいくつかが形となった一年

昨年は、皆さまとともに挑んできた政策のいくつかが、ようやく形となった一年でした。30年ぶりに見直された「年収の壁」は、昨年春の時点で103万円から123万円へ、そして本年からはさらに大幅に引き上げられることとなりました。また、ガソリンの暫定税率が長年の議論を経てついに廃止が決まり、物価高に悩む国民の暮らしに、一筋の光をもたらすこととなりました。

エネルギー政策においても、柏崎刈羽原子力発電所(新潟)や泊原子力発電所(北海道)など、安全対策をふまえた原子力発電所の再稼働に向けた動きが加速しています。エネルギーの安定供給と脱炭素化の両立をめざし、現場の知見と地域の声を伺いながら、今後の政策に反映させてまいります。

より多くの仲間とともに勝利を掴み取る

選挙の場面でも大きな成果がありました。第27回参議院議員選挙では平戸航太氏が初当選し、日立グループ議員団として初となる同時期に二人目の国会議員が誕生しました。また、安来市議会議員選挙では原瀬清正氏が3期目、小松原直樹氏が初当選を果たされました。

本年は下松市(4月)、栃木市(4月)、胎内市(9月)の市議会議員選挙、茨城県議会議員選挙(12月)のそれぞれで、日立グループ議員団の仲間が選挙に臨みます。これまで、勝ち取ってきた一つひとつ成果を力に変え、より多くの仲間とともに、勝利を掴み取り、未来への希望を広げる一年にしてまいりましょう。

最後に、本年一年間の皆さまの御健勝と御多幸を祈念申し上げます。ともに頑張りましょう！



国政レポート | 暮らし改善に全力を尽くす

参議院議員(日立労組/本社支部) 平戸 航太

この度、日立グループ議員団の一員となりました参議院議員の平戸航太です。

昨年の第27回参議院議員選挙におきましては、9万2,137票というご支持を賜り、国政に送り出していただきました。その負託に応えるべく全力を尽くす所存です。

参議院では予算委員会等に所属

現在、参議院では予算委員会、国土交通委員会、ならびにデジタル社会の形成および人工知能の活用等に関する特別委員会に所属し、党内ではエネルギー調査会、経済調査会、安全保障調査会の一員として政策立案に努めています。また、臨時国会では、年

少扶養控除復活法案の提出やガソリン減税の実現など、国民民主党として「手取りを増やす政策」に注力してまいりました。

生活に直結する課題に取り組む

物価高が続く中、働く皆さまの暮らしを支え、安心して働き続けられる環境を整えることは極めて重要であり、今後も生活に直結する課題に粘り強く取り組んでまいります。

引き続き、電機産業の発展と、私たちの職場や暮らしのさらなる改善に向け、浅野会長はじめ、日立グループ議員団の皆さんと連携し、全力を尽くしてまいります。今後の活動にも是非ご注目ください。

議員活動レポート

日立グループ議員団所属議員の活動をご紹介します

市政だより

県政だより

日本初の“泊まれる植物園”がグランドオープンへ



高安 博明

茨城県議会
(日立労組/日立国分支部)

茨城県の賑わいと
地域活性化につながることを期待



滞在型観光を見据えた機能が整備されたTHE BOTANICAL RESORT 林音

昨年11月、茨城県那珂市にある県立植物園が、待望のリニューアルオープンを迎えました。昭和56年の開園以来、植物園は隣接する県民の森とともに、県民の皆さんにとって自然と触れ合える憩いの場所として親しまれてきました。しかし、施設の老朽化や類似施設との競合により、利用者数は長年低迷していました。

こうした状況をふまえ、県では令和5年度から基本構想・設計を進め、民間の創意工夫を取り入れながら、新たな魅力を備えた施設づくりを進めてまいりました。今回のリニューアルでは、植物展示の充実に加え、コテージやグランピング、温泉施設、バーベキューエリアなど、滞在型観光を見据えた機

能が整備され、訪れた方が一日を通して楽しめる施設へと大きく生まれ変わりました。

私たち会派としても、この事業について議会等でさまざまな議論を重ね、その実現に向け尽力してまいりました。新しく生まれ変わった植物園が、多くの皆さんに親しまれ、地域の自然や観光資源として、茨城県の賑わいと地域活性化につながることを期待しています。

皆さんも是非「THE BOTANICAL RESORT 林音」に遊びに来てください。

防犯対策に資する住民支援を実現

村政だより



住民の
安心・安全につながる
施策の提案を行う



越智 辰哉

東海村議会
(日立労組/日立国分支部)

不安を払拭するためにはもう一歩踏み込んだ施策の必要性を強く感じていました。

そこで、令和6年度の定例会において、お隣の日立市で従前から導入されているカメラ付きインターホンや防犯カメラの導入補助など、住民の防犯対策を後押しする具体的な支援策の必要性を繰り返し提案しました。

その結果、令和7年度から「住宅防犯対策補助金(導入経費の50%、上限2万円)」が予算化され、9月中旬には既に予算枠(300万円)に到達して受付が終了になるなど、住民からの反響も大きい状況です。

今後も、住民の安心・安全につながる施策の提案を積極的に行ってきます。

近年、住宅侵入窃盗やニセ電話詐欺など住民生活を脅かす犯罪が高い水準で推移しており、特に高齢者を狙った詐欺被害は、地域全体での対策が急務となっています。

東海村では、これまで防犯情報の発信や地域の見守り活動支援といったソフト面に加え、公共空間への街頭防犯カメラの設置など、多角的な対策が進められているものの、住民の

治水対策を行う



歴史ある
蔵の街の
生命と財産を守る



小太刀 孝之
栃木市議会
(日立GLS労組/栃木支部)

栃木市では令和元年東日本台風に伴う記録的な豪雨により、市内西側を流れる永野川では護岸破壊による洪水、橋梁の損傷が発生し、市内中心部を流れる巴波川では広範囲にわたり溢水し、家屋浸水等の甚大な被害が発生しました。

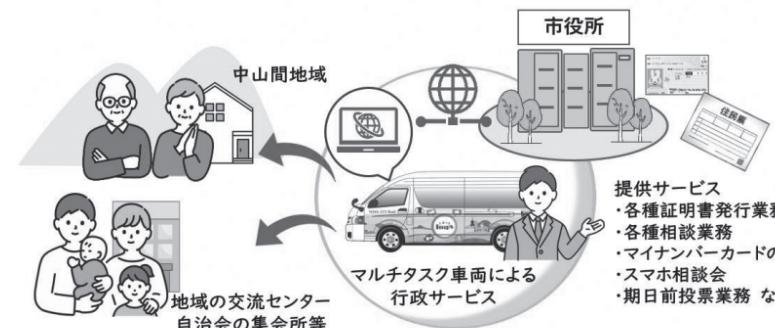
これを受け、県および市は治水対策を行っています。永野川については、河道掘削、護岸堤防の嵩上げがほぼ終了し、橋梁の架け替え、調整池建設工事が現在行われています。巴波川については沿川の状況を考慮すると、河川の拡幅による改修は極めて困難な状況にあるため、市街地の地下貯留施設をはじめ、道路の地下等を活用した地下トンネルによる捷水路の整備が進められています。この工事は令和9年度中の完成をめざしています。

地下捷水路を緊急的・集中的に整備することで、令和元年東日本台風と同程度の洪水に対し、床上浸水被害を解消し、歴史的風致建造物を含めた、歴史ある蔵の街の生命と財産が守られています。

村政だより

市政だより

マルチタスク車両を導入



マルチタスク車両による
出張行政サービス

マルチタスク車両による
行政サービス

各種証明書発行業務

各種相談業務

マイナンバーカードの申請・交付業務

スマホ相談会

期日前投票業務など

提供メニューの拡大に向けて意見提起に努める

安来市では、DX推進の一つとして、マルチタスク車両1台が令和6年1月から導入されています。この車両には、車内にインターネット回線などが装備されており、出張行政サービスが展開できます。市役所に行くことが困難な市民の皆さんの利便性向上を目的に、証明書発行やマイナンバーカードの申請、出張なんでも相談、出張スマホ相談会、確定申告出張相談などを行っています。この車両は、定期的な巡回スケジュールによって運用されています。さらに、eスポーツ運動会やデジタル技術を体感するイベントへの参加などにも活用されており、利用者の多くの方に満足いただいている。2025年10月に施行された安来市議会議員選挙では、移動式期日前投票所として活用され、これまでの中山間地域2箇所に加え、新たに市内2つの高等学校で開設されて若い世代の方が投票をしたようです。この車両のさらなる活用としては、安来市立病院と連携をして遠隔医療システムの活用による診療も検討が進められています。

中山間地域の市民の皆さんにも平等にサービスが提供できる取り組みであり、提供メニューの拡大に向けて引き続き意見提起に努めてまいります。